

もりのにぎわい通信

2011年9月24日 定例活動報告

日時：2011年9月24日（土）9：00～17：00

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 16～25℃ 湿度 46% 風向風速 東南東 5m

参加者：参加者 35人：子供 9人、大人 26人（小山町・土地改良区 10人含）

■ 活動

8：30 ツリーハウス作業打合せ及び作業開始。

9：00 刈払機による草刈。

9：45 森もりあそび隊受付。

10：00 草刈作業休憩。

10：30 ティピの布に水性ペンキで生き物の絵を描く。

12：00 昼食。

13：00 ティピの設営とツリーハウス作業の開始。

13：30 サツマイモと落花生の収穫。

15：00 ティピ製作親子解散。

16：40 ツリーハウス製作後片付け。

17：00 解散

■ 活動報告

暑い中の使用する木の皮むきを経て、8月20日に直径45cm、深さ90cmの穴を9箇所掘り、その穴に後日碎石15cmを敷き、ツリーハウス基礎工事を実施しました。今回は、横田先生の指導の元、本格的に始まったツリーハウス作りの2回目。

台風も過ぎ晴天に恵まれた中、横田先生と岡田さんをお迎えし、朝からスタート。

緑の環からのツリーハウス作り参加者は星野夫妻、金井さん、中桐さん、石阪夫妻。

先ずはお手伝いをお願いした井内林業さんによってユニック車で柱が立てられました。

万が一の事が無いように皆ヘルメットを着用し、やや緊張の面持ち。

長さ4.5m 直径45cmの丸太がユニック車で吊り上げられ、以前掘った穴に順番に立てられていきます。

センターの位置をやや動かしたものの、無事に9本の柱が立てられました。

続いては梁を組み上げるため、高さと水平を合わせたガイドになるツーバイフォーの板を仮止め。

そこに梁となる丸太を置き、柱と梁がかみ合う様に位置と大きさを決め、一旦梁を下ろしチェーンソーで削りました。

チェーンソーの作業は難しく、特に柱は立ったままでの作業のため最初は難航しました。

微妙な位置合わせを繰り返し、横田先生のOKが出たところで、梁と柱にドリルで穴を開けボルトを通し止めていきます。

この一連の作業を3回繰り返し、9本の柱に3本の梁が取り付けられました。

次に梁の上に根太を6本乗せて鋸(かすがい)で止めていきます。
無事止め終わり根太の上に張る床板をユニック車で乗せたところで一旦終了。
2mの高さから見る景色に皆、感動しつつ終わりました。

<9月25日(日)>

朝10時より昨日の続きがスタート。

早速、昨日乗せた床板を位置を合わせて75mmのねじ釘で止めていきます。

板と板の間は9mmの板を挟んで隙間を空けます。

これは床に雨水が溜まらない様にするためです。

電気ドリルのおかげもあり、1時間程で床板を全て張り終えました。

残りの手すりを付けたり階段を作ったりする作業は、次回10月22日(土)となります。

2日を通し誰もケガをする事無く、無事に終えた事は何よりでした。

新しくできた緑の環のシンボル、ツリーハウス。

今後の小山の森を末永く見守っていく存在になりそうです。

(記録 石坂 嘉康)

.....

■ 森もりあそび隊

ティピに絵を描く・・・ふたたび・・・

前回の7月23日に子どもたちが描いた絵が予想外の大雨で流れてしまったため、同じ場所に絵をふたたび描く作業をしました。前回同様、森に住む生き物をテーマに絵本や図鑑を参考にそれぞれ好きな絵を描きました。前回参加していた子と参加していない子といろいろでしたが、参加していた子は同じ絵を描くかと思いきや、前回とは違うものを描きたいとのことで新しい絵に取り組んでいました(新旧虫を描いた虫好きの男の子二人)。今回はじめて絵を描いた中学生の女の子はカメラを持参して自分が撮影したトカゲ?イモリ?の写真をみながらシルエットと足あとを描いてアーティストさながらでした。一度やったことだったこともあり全体的にみんな要領よく絵を完成させて、今後参加予定の子どもの描くスペースを残した状態でしたが素敵なティピが完成しました。

そうそう・・・書き忘れてはいけないことが・・・

インディアンのティピをまねてティピの上部と裾部分に大きいものは赤と茶、小さいものは赤と青の水性ペンキで模様を描きました。定例活動日とは別で二日にわけて行いましたが、一日目は子ども達が大活躍!服や手にかなりペンキがつかいましたが大きな塗り絵をしているように楽しそうに塗っていました。二日目は大人だけでしたが、職人になれそうなくらい?終わりはきれいな仕上がりとなりました(自画自賛(^_^;))。

当日の話に戻り、子ども達が絵を描き終えて乾かした後、あそび隊のお父さんの協力で竹の組んだものに大小ティピを張りました。離れて眺めると子ども達の絵もはっきりとわかり、緑の草むらにとでもはえる感じでした。

しかし、ティピの中は草が伸び放題・・・しかも道もなく・・・まだ中は暑く・・・で?

またまた子ども達は今回も遊べない様子。大人のおもわく通りにはいかないものです。

サツマイモと落花生の収穫

今年のさつまいもは昨年とちがって野生動物に食べられてしまう被害がとても少なく、実も大きいものばかりの豊作でした。つるの伸び具合がものすごく、つるを先に取り作業がとても大変でした。

子ども達は一人では掘りきれない大きさのものは二三人で協力しながら掘り上げていました。収穫は畑半分残した状態で一輪車に山盛り二台分でした。今年初チャレンジの落花生は花が残っていたのでまだ収穫できないのかと思いましたが、抜いてみるとしっかりすずなりに実をつけていました。落花生は土より上の部分を引っ張ると実がぶら下がってたくさんついてくるのが面白らしく、抜いた瞬間は歓声があがり、子ども達で競い合うように抜いていました。家に少し持ち帰り、落花生を圧力鍋で塩茹でにしたところ、予想以上においしい秋の味覚でした。

当日の子ども達の人気のあそびは、おなもみくっつけ遊び（髪の毛につくととるのが大変というのが発見でした！）と泥団子づくりでした。

最後に残っていた子ども達でほぼ完成したツリーハウスによじのぼり子どもたちが目にした森の景色は忘れられないものになったのではないのでしょうか。

私も久しぶりに木に登った感覚（子どもの頃以来）でどうやって子どもたちは遊ぶだろうと夢がふくらんでわくわくしました。きれいな夕焼け空でした。

（記録：和田みさ子）

.....

■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例活動は、10月22日（土）（雨天時10月23日（日））です。除草作業（苗木に絡まったクズの刈り取り）と横田先生指導によるツリーハウス作業の第2回目は、階段と手すりをつけます。また、ティピを設営し遊びながら探検地図作りをする予定です。



ティピ製作中



大きいおいもがほれました



サツマイモ畑から見上げたツリーハウス（作製中）



子ども達に大人気のおなもみ



集合写真

<8月20日活動>



9箇所の位置を決め、柱9本用の穴を掘る。



大川さん、猪野さんの応援を得て、手分けして、柱9本用の穴(深さ90cm)を掘る。



皆さん穴掘りご苦労様でした。

<9月24日活動>



事前に皮むきしていた柱をクレーンで吊り上げツリーハウス作り開始



事前に掘っておいた深さ 75cm の穴に柱 9 本を敷設。



梁を支える仮板を敷設し、作業をしやすくする。



クレーンにて梁を敷設。



柱9本と梁3本をボルトにて固定するためにチェーンソーにて削る。これが難作業でした。



クレーンにて根太6本を敷設し、銼にて固定。



同時に仮板を外す。

クレーンにて床板を吊り上げ



あたりが暗くなってきたので、床板の吊り上げにて本日の作業は終了。



日が暮れるまでの作業。皆さんご苦労様です。古代遺跡のよう？